

## 揖斐農林事務所の普及活動状況 令和6年10月23日現在

### ぎふ農業・農村を支える人材育成

#### ■地域就農支援 第2回揖斐地域就農支援協議会の開催

10月7日、第2回揖斐地域就農支援協議会（揖斐農林事務所、町、JAで構成）を開催し、新規就農者の就農状況や認定農業者への移行、就農相談について情報共有を行った。

資材費高騰や異常気象が続く中、経営が計画どおり行えていない新規就農者の実態が多いことが明らかとなり、関係機関による「農業者に寄り添う支援」の必要性を再認識した。

引き続きサポートチームで農業者一人一人の状況にあわせた伴走支援を行う。



【就農支援協議会の様子】

### ぎふ農畜水産物のブランド展開

#### ■有機農業 有機栽培モデル実証圃現地検討会の開催

10月11日、揖斐地区有機農業プロジェクトチーム（揖斐農林事務所、町、JAで構成）は、大野町の有機農業実践者と茶有機栽培モデル圃（池田町茶業振興センター内に設置）を視察し、揖斐管内における有機農業の展開について協議した。現地では、有機農業実践者の熱い思いや、達成に必要な支援などの聞き取りを行った。

農業普及課からは茶有機栽培モデル圃における試験結果と収量の課題点について説明した。

検討会議では、問題となっている温暖化への対応の他、新たな課題点について洗い出しを行った。

今後も関係機関と連携し、現地実証並びに技術支援を行う。



【有機農業実践者の説明】

#### ■水稻 実証ほ場の成熟期調査を実施

10月11日、揖斐川町、大野町の水稻実証ほ場（品種：ハツシモ岐阜 SL）で、収穫前の成熟期における生育調査をJA、肥料メーカーとともに行った。当ほ場では、環境への影響を配慮したプラスチック排出抑制肥料の実証を行っている。その他にも飼料用の多収性品種の実証ほ場を設置しており、適宜生育調査を行っている。

今後、収量や品質調査の結果をふまえて、地域の栽培指針に活用していく。



【生育調査の様子】

#### ■直売所 野菜栽培講習会の開催

10月15日、JAいび川が担い手サポートセンターで野菜栽培講習会を開催し、23名が受講した。JAいび川では、直売所の農産物の出荷拡大に向けて定期的に栽培講習会を実施している。

農業普及課は講師として出席し、「土づくり」と題して土壌の種類と性質、堆肥の種類と特性、肥料の特性、連作障害について解説し、土づくりの有用性について説明した。また、9月下旬にハスモンヨトウの被害があったため、生態並びに対策について説明した。

今後も、農産物の地産池消の推進にむけてJAいび川が開催する講習会の支援を行う。



【講習会の様子】

## ■かき 新品種「麗玉」出荷目揃え会の開催

10月12日、大野町かき振興会は「麗玉」出荷目揃え会を開催し20名が出席した。「麗玉」は着色・食味良好、正品割合の高い品種で、大野町で一早く導入され産地化が進んでいる。

生育は、果実肥大がやや小ぶりで、着色は平年に比べやや遅く、食味は良好となっている。

目揃え会では、生産者同士で出荷規格や出荷時の注意事項について確認を行った。

農業普及課からは「麗玉」の特徴と生育状況、病虫害防除、栽培上の注意点について情報提供を行った。

今後も関係機関と連携し、技術支援を行う。



【目揃え会の様子】

## ■いちご 3町合同研修会の開催

10月23日、3町のいちご生産組織が合同で、いちごの適切な管理を行うための研修会をJAいび川担い手サポートセンターで開催し、生産者と関係機関合わせて23名が参加した。

研修会では、農業普及課から花芽検鏡結果、今後の栽培管理、育苗期の高温対策試験結果、GAPの取り組みについての話題を提供し、知識の習得を図った。

また、農業共済、全農岐阜から情報提供があり、揖斐地域の組合同士の連携を深める良い機会になった。

今後も関係機関と連携し、技術支援を行う。



【研修会の様子】

## 地域資源を活かした農村づくり

### ■特産 徳山なんばのPR販売を実施

10月12日、徳山なんば振興協議会は、「道の駅星のふる里ふじはし」で開催された「藤橋新鮮朝市」で、販売促進PR活動を行った。

今回、レギュラー商品の乾燥商品の他、新たに粉末状の「一味とうがらし」の発売を行った。

協議会員は、PR用に作成したリーフレットを活用し、「徳山なんばの特徴」を説明し、来客者へPRを行った。協議会は、11月も同道の駅のイベントで認知度向上のためのPR活動を予定している。

農業普及課は、徳山なんばブランド化推進のため、PR資材の作成や加工品開発への支援を行う。



【販売の様子】

## 中山間地域を守り育てる対策

### ■飛騨美濃伝統野菜 こいやー春日まつりでのPR活動を実施

10月20日、ふるさと春日地域づくり協議会春日伝統野菜クラブは、岐阜大学里山暮らし応援隊（以下応援隊）と連携し、貝原棚田の活動と春日地域の伝統食を伝える活動として、こいやー春日まつりに出展した。

応援隊は、棚田の作業を通して、春日地域の文化や地域資源を学び発信する活動を行っており、まつりでは、春日地域の伝統食「なもち」やよもぎやとちを使用した焼きもちを提供した。

農業普及課は、伝統野菜の栽培や地域資源の活用等地域振興に関する支援を行う。



【PR活動の様子】